

第18回知識構造化シンポジウム 「未然防止力を高める 知識基盤の多様化と高度化」

ライブ配信
開催

2026
9/18(金)
13:30-17:00

開催形態：ライブ配信

参加費：4,950円（税込／一般・会員ともに）

◆特典つき！詳細は裏面に◆

主催：一般財団法人日本科学技術連盟

後援団体：（順不同）

一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本自動車部品工業会

一般社団法人 KEC 関西電子工業振興センター、日本信頼性学会

一般財団法人日本品質管理学会、株式会社日科技連出版社

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し、再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは、多くの業種・企業で取り組まれています。導入企業では、製品や装置の設計、製造、技術サービス、安全活動など様々な業務において、SSM 知識を活用し技術情報の一元化や属人化している知識の社内共有を行い、未然防止力の向上を進めています。また自社の労災・事故経験だけでなく、一般的な労災・事事故事例と生成 AI を連携させて、SSM 知識ベースの運用を高度化し、社会の安心安全を高める取り組みも始動しています。

今回のシンポジウムでは、SSM による未然防止基盤の構築や知識運用の高度化により、製品トラブルの対応・未然防止や、労働安全・事故防止を支援する具体的な取り組みをご紹介します。ぜひご参加ください！

※本シンポジウムは実践に重点を置いた内容となっています。事前に下記の書籍をお読みいただくと、一層効果的です。

『SSMによる構造化知識マネジメント－設計開発における不具合防止に役立つ知識の構築と活用－』（田村泰彦 著 日科技連出版社）

『JSQC 選書 第4巻 『トラブル未然防止のための知識の構造化－SSMによる設計・計画の質を高める知識マネジメント－』（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

（田村泰彦 著 日本品質管理学会監修 日本規格協会）

※ライブ配信とは、ご参加いただく方の PC、タブレット、スマートフォン等でシンポジウムの様子を映像で視聴しながら参加していただく形式です。総合討論での質問方法、ライブ配信プラットフォーム、PC等の推奨環境など詳細は web サイトをご確認ください。

プログラム

時間	内容／講演者（敬称略）
13:30-13:40	オリエンテーション
13:40-15:40	事例講演 1： 「環境プラントの設計におけるSSMを用いた不具合未然防止力強化に向けた取り組み」 新谷 弘子（カナデビア株式会社 品質保証統括部 環境品質保証部 品質保証2グループ） 米谷 裕太郎（カナデビア株式会社 品質保証統括部 環境品質保証部 品質保証2グループ） 事例講演 2： 「SSMを用いたトラブルシューティングと未然防止の仕組み構築とその活用」 大門 晃（D I C株式会社 技術企画部 兼 パッケージングマテリアル技術センター マネジャー） 事例講演 3： 「労働災害や火災事故を防止するための生成 AI を用いた SSM 知識ベース運用」 松本 虎衛門（東京海上ディーアール株式会社 企業財産本部 シニアリスクエンジニア） 前田 祥吾（株式会社構造化知識研究所 コンサルタント）
15:40-16:10	特別解説：「SSM 導入・定着の進め方と実践各社の様々な取り組み」 長谷川 充（株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント）
16:10-16:50	総合討論：全講演者 コーディネータ：田村 泰彦（株式会社構造化知識研究所 代表取締役）
16:50-17:00	まとめ

※プログラムは予定です。時間・講演内容・タイトルなど予告なく変更される場合があります。予めご了承ください。

お問合せ先

日本科学技術連盟 品質経営推進センター SSMS 担当 TEL:03-5378-1213 E-mail:quality-kensyu@juse.or.jp

お申込みは裏面をご利用頂くか、日科技連 HP・URL：<http://www.juse.or.jp/> をご確認ください。

概要 (講演者敬称略)

事例講演 1 「環境プラントの設計における SSM を用いた不具合未然防止力強化に向けた取り組み」

新谷 弘子 (カナデビア株式会社 品質保証統括部 環境品質保証部 品質保証 2 グループ)
米谷 裕太郎 (カナデビア株式会社 品質保証統括部 環境品質保証部 品質保証 2 グループ)

弊社環境事業本部では、ごみ焼却発電施設や水処理施設などの環境プラントの設計・施工・施設運営を行っている。これらの活動において発生したトラブル内容は、社内共有されているものの、他の技術情報とは別に管理されており、設計者にとって活用しやすい状態ではなかった。そこで、SSM による知識構造化を用いて、設計時に役立つ情報を一元的に管理した再発防止・未然防止力強化のための技術情報基盤の構築を進めている。本講演では、これらの取り組みと工夫について紹介する。

事例講演 2 「SSM を用いたトラブルシューティングと未然防止の仕組み構築とその活用」

大門 晃 (D I C株式会社 技術企画部 兼 パッケージングマテリアル技術センター マネジャー)

弊社ではパッケージ用のインキ、接着剤、塗料等の開発・製造・販売を行っている。これらの製品の設計開発や技術サービスにおいては、顧客での不具合未然防止や発生した不具合への迅速対応が求められている。一方で、これらに役立つ知識については属人化しており、社内での共有化ならびに技術継承ができていないという問題点がある。そこで、SSM を導入することでこれらの問題解決を図る取り組みを推進している。本講演ではこれまでの取り組みと今後の展望について紹介する。

事例講演 3 「労働災害や火災事故を防止するための生成 AI を用いた SSM 知識ベース運用」

松本 虎衛門 (東京海上ディーアール株式会社 企業財産本部 シニアリスクエンジニア)
前田 祥吾 (株式会社構造化知識研究所 コンサルタント)

日本では人手不足が深刻化する中、労働災害件数が高止まりし、日本社会全体の課題となっている。また工場の火災事故件数も近年減少していない。現場での労災・事故の未然防止のためには、自社の経験の活用だけでなく他社事例も活用し、リスクアセスメントや危険予知活動を行うことが大切である。しかし、他社事例の知識運用は容易ではない。これに対して生成 AI と SSM を連携させた一般化知識ベースの活用が有効である。本講演では、一般公開されている火災事故情報や厚生労働省が公開している労働災害事例の未然防止への活用方法について紹介する。

特別解説 「SSM 導入・定着の進め方と実践各社の様々な取り組み」

長谷川 充 (株式会社構造化知識研究所 シニアコンサルタント)

総合討論 (全講演者)

コーディネータ: 田村 泰彦 (株式会社構造化知識研究所 代表取締役)

◆参加者特典のご案内◆

本シンポジウムの参加者特典として、日科技連主催「設計開発における不具合未然防止のための知識活用セミナー」を割引価格でご受講いただけます！本特典は3名様(シンポジウム参加者ご本人+2名)までご利用可能、参加費:一般73,700円→68,750円、会員66,000円→61,050円(税込)が適用されます。シンポジウムとセットで、ぜひセミナーも貴社の取組み推進にご活用ください。なお、本特典の対象は2026年度第2回、2027年度第1回のセミナーとなります。また、本特典のご利用にはシンポジウム当日に配付する専用申込書が必要となります。

◆お申込み先: セミナー受付グループ (FAX: 03-5378-1227 / regist@juse.or.jp / TEL: 03-5378-1222)

※No欄は記入しないでください

第18回 知識構造化シンポジウム参加申込書

2026年 月 日

No	参加者名	所属事業所・部課・役職名	所在地/資料送付先	電話/E-mail
			【所在地】 〒	TEL : E-mail :
			【資料送付先】 〒	
			【所在地】 〒	TEL : E-mail :
			【資料送付先】 〒	

●連絡担当者様 (お申込み受付後「開催ご通知」をお送りする方)

会社名		事業所名		電話	
部課/ 役職名		ふりがな 担当者名		F A X	
所在地	(〒 -)		E-mail		
参加費	4,950円(税込) × 名 =		円		

※ご記入いただいた企業・組織及び個人情報は、参加申込み受付処理ならびに日科技連からのセミナー情報ご送付のために使用いたします。また、当該個人情報は必要なセキュリティ対策を講じ、厳重に管理し、第三者に提供することはありません。なお、お申込みいただいた方には当連盟のセミナー・研究会・講演会等をご案内する場合がございます。また、その際、宛名データを外部に委託する場合がありますのであらかじめご了承ください。ただし、ご要請があればご案内を速やかに中止いたします。

※事前のキャンセル連絡がなく欠席された場合は、資料のご送付と引き替えに参加費を全額頂戴いたします。